

国際宇宙ステーション(ISS)滞在期間中の 古川聡宇宙飛行士に対する栄養指導を支援

2023年8月、古川聡宇宙飛行士はスペースX社クルードラゴン7号機に搭乗し、国際宇宙ステーション(ISS)での長期滞在を行います。エームサービス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:小谷 周)は、古川聡宇宙飛行士の長期滞在ミッションにおいて、健康管理運用業務のうち栄養管理業務に参加しています。



出典:SpaceX

■古川聡宇宙飛行士ミッション健康管理運用支援業務で協力するビジネスパートナーとその役割

有人宇宙システム株式会社	宇宙飛行士の健康管理運用支援業務の実施・とりまとめ
大妻女子大学	宇宙飛行士の栄養評価を担当
エームサービス株式会社	宇宙飛行士の栄養指導を担当
セントラルスポーツ株式会社	宇宙飛行士の最大酸素摂取量測定を担当
特定非営利活動法人メンタルレスキュー協会	宇宙飛行士の精神心理面談を担当
宇宙技術開発株式会社	宇宙食・生活用品関連業務、精神心理支援を担当
エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ株式会社	宇宙放射線による被ばく管理運用を担当

■日本人宇宙飛行士ミッションの健康管理運用業務概要

ミッション任命後の宇宙飛行士に対しては、各種訓練・ミッションを無事遂行するための健康管理が行われています。ISS 長期滞在中は、微小重力、閉鎖隔離、宇宙放射線被ばくなどによる健康影響リスクを最小化するため、地上から健康状態のモニタや評価および対策が行われます。帰還後は、日常生活への早期復帰と飛行前の体力水準への回復を目的としたリハビリテーションが計画的に行われます。

■本業務における役割と実態

今回は、当社IDSセンター ニュートリション室所属の松岡未希子(管理栄養士・公認スポーツ栄養士)らが古川聡宇宙飛行士に対する飛行中の栄養管理業務に携わります。飛行前には、国際宇宙ステーション(ISS)の打ち上げに備えた各種訓練に万全の体調で臨めるように栄養指導を実施。ISS 長期滞在中は、アメリカ航空宇宙局(NASA)より毎週送られてくる食事の情報を分析のうえ栄養評価を行い、栄養指導案を作成し、面談時に直接栄養指導する古川聡宇宙飛行士専任の航空宇宙医師(フライトサーजन)を支援するとともに、関係各所と連携しながら健康を適切に維持し、ISS ミッションを無事完遂できるようサポートします。

当社は、2021年4月～2024年3月までの期間、有人宇宙システム株式会社(JAMSS)が国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)から受注した契約業務「ISS 日本人宇宙飛行士健康管理運用業務」のうち、栄養管理業務に参加しています。



古川聡宇宙飛行士

出典: JAXA/NASA

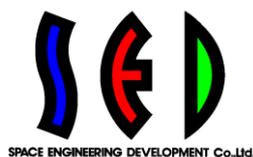


出典: JAXA/NASA

国際宇宙ステーション (ISS)

■エームサービス株式会社について

1976年に三井物産株式会社と米国サービスマネジメント大手のアラマーク社を含む企業グループの合併により設立され、オフィス・工場をはじめ、病院・社会福祉施設、学校、スポーツスタジアム・トレーニング施設など、さまざまな施設でフードサービスを展開。現在、グループ全体で、全国約3,900カ所の施設において1日約130万食を提供しています。受託先の医療現場では個々に応じた食事の管理業務に、また、約60の企業や団体、学校においては選手やチームに合った栄養指導や遠征先への帯同などのスポーツ栄養サポート関連業務に従事しています。



《本件に関するお問い合わせ先》

エームサービス株式会社 広報室: 堀 容子、村上ひろか

TEL: 03-6234-7522 FAX: 03-6234-7692 E-mail: aim@aimservices.co.jp